

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第467号 平成23年11月



『もっともっと』 森本 晋

## 目 次

	頁		頁
1) 感染症だより	西多摩保健所 … 2	7) 西多摩地域糖尿病医療連携	
2) 専門医に学ぶ	津村豊明 … 3	検討会からの今月のメッセージ	川鍋とみ江 … 9
3) ご挨拶	堀 克巳 … 5	8) 西多摩医師会 写真・絵画展	
4) 連載企画			写真・絵画部 … 10
マッキントッシュ・コンピューターから世界に		9) 理事会報告	広報部 … 12
	馬場真澄 … 5	10) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 16
5) 学術部インフォメーション	学術部 … 6	11) お知らせ	事務局 … 18
6) 広報だより		12) 表紙のことば	森本 晋 … 18
親切な診療情報提供書の書き方について		13) あとがき	土田大介 … 19
	江本 浩 … 7		

## 感染症だより

### 〈全数報告〉

第37週(9/12-9/18)から第41週(10/10-10/16)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

- (二類感染症) 活動性結核 6件(肺結核 5件、肺外結核 1件)
- (三類感染症) なし
- (四類感染症) なし
- (五類感染症) なし

### 〈管内の定点からの報告〉

	37週	38週	39週	40週	41週
	9.12～9.18	9.19～9.25	9.26～10.2	10.3～10.9	10.10～10.16
RSウイルス感染症		2	8	7	1
インフルエンザ					
咽頭結膜熱					1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	3	2	4
感染性胃腸炎	16	11	20	19	12
水痘	7	4	1	4	4
手足口病	51	39	31	19	11
伝染性紅斑	3		1	2	3
突発性発しん	6	1	1	2	3
百日咳					
ヘルパンギーナ	7	1	3	2	2
流行性耳下腺炎	3	3	3	1	1
不明発疹症					
MCLS					
急性出血性結膜炎					
流行性角結膜炎		2			
合 計	93	64	71	58	42

基幹定点報告対象疾病〈細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病を除く)〉  
マイコプラズマ肺炎 9件(1～4歳 4件、5～9歳 4件、10～14歳 1件)

### 〈コメント〉

#### ① マイコプラズマ肺炎は管内での発生が報告されています。

都全体の定点当たり報告数は過去5年の同時期と比較して高くなっています。管内では37週3件、38週2件、39週1件、41週3件が報告されています。

全国的には、38週時点の定点当たり報告数は、埼玉県(3.22)、大阪府(2.67)、愛知県(2.62)が多いです。

#### ② RSウイルスの定点当たり報告数が増加しています。

全国的には1歳以下の報告数が全体の76%を占めています。

管内では39、40週と報告数が多く、都内では定点当たりの報告数が増加傾向にあります。

厚生労働省/国立感染症研究所の感染症発生動向調査(39週)の注目すべき感染症と東京都感染症情報センターのトピックスに掲載されています。

#### ③ 手足口病の流行警報は解除されました。

都全体の定点当たり報告数は36週以降減少しており、流行警報も解除されました。管内定点当たり報告数は、37週以降減少しており、41週では過去5年の同時期と同様になっています。

#### ④ インフルエンザの管内定点からの報告はありません。

都全体の定点当たり報告数は41週時点では0.07となっています。

全国的には定点当たりの報告数は35週以降増加しており、38週時点では沖縄県(0.83)、山口県(0.67)、愛知県(0.16)が多いです。

# 専門医に学ぶ 第82回

## 問題

【症 例】 74歳 男性

【主 訴】 左眼視力低下

【既往歴】 特記事項なし

【現病歴】 平成20年左眼視力低下自覚し近医受診、左眼白内障と診断された。

翌年、検診で左眼視神経乳頭陥凹指摘され、平成22年3月9日当院紹介される。

【初診時所見】 右眼視力0.5 (1.0) 左眼視力0.1 (0.4) 眼圧 右14/左21 mmHg

前眼部・隅角に異常所見はなく、両眼軽度白内障を認める。眼底所見では左眼視神経乳頭陥凹拡大を認める。

【眼底写真】

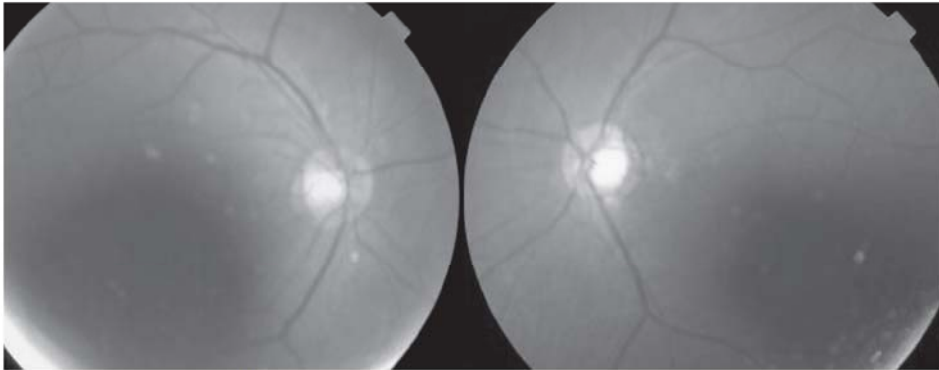


図1. 眼底写真 (左:右眼、右:左眼)

両眼白内障により眼底透見しにくいが見、左眼視神経乳頭陥凹拡大を認める。

【視野検査】

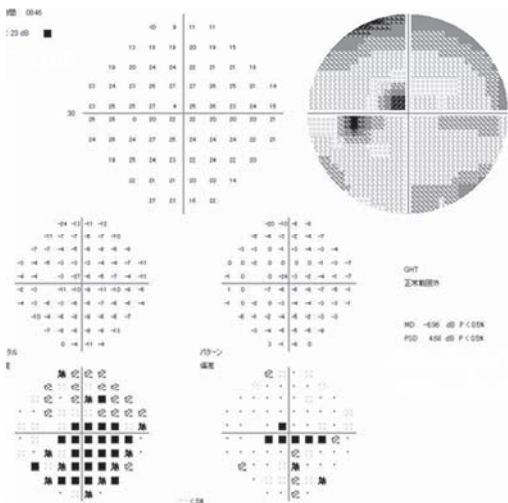


図2. 左眼自動視野計結果 (中心30°プログラム)

耳側の Mariotte 盲点以外では中心4点のうち、左上の1点が4dBと著明な感度低下を呈したがグレースケールでは他に目立った視野障害は認めない。

【臨床経過】 左眼 原発開放隅角緑内障の診断で点眼治療を開始したが眼圧下降しなかったため、平成22年6月29日左眼線維柱帯切除術、白内障手術を併施した。術後眼圧は10mmHgを維持しているが術後視力は0.3で改善されなかった。

患者へのインタビューで術前より左眼中心～中心やや耳側視野欠損の自覚があり、3-4年前より拡大しているとのことであった。

【問題】

術後に視力改善が見られなかった理由は？

解答と解説 公立福生病院 眼科医長 津村 豊明

【解答】 緑内障による網膜神経線維障害が乳頭黄斑線維束領域に及んでいたから。

【解説】 我が国の緑内障疫学調査である多治見スタディ（2004年）では40才以上の緑内障有病率は5.0%であった。緑内障の主な障害は視野障害であるが自覚症状に乏しく、多治見スタディにおいて診断された緑内障患者の約8割は新規に発見された。

本症例は左眼視神経乳頭陥凹が著明で特に耳側陥凹が拡大している。

また、図2の左眼視野検査のグレースケール表示からは中心上方に限局した視野障害を呈しているものの、全体的な視野感度は顕著ではない。

術後視野検査は術前同様で進行は認めなかったが、10度の範囲に絞って詳細に検査を行うと耳側（左方）から中心にかけて著明な感度低下を呈していることが分かる。緑内障性視野障害は網膜神経線維の走行に沿って障害されるが、本症例は中心視野に関わる乳頭黄斑線維束が障害された症例であった。通常、緑内障性視野障害は上方、または下方に弓状暗点や鼻側階段から始まることが多く、中心視野から障害されることは少ない。また、中心視野障害であれば視神経症や、黄斑疾患あるいは術後低眼圧黄斑症など他疾患との鑑別が必要になる。今回、光干渉断層計などで網脈絡膜や乳頭形態を観察したが乳頭黄斑線維束の網膜神経線維欠損以外に明らかな異常所見は認めなかった。

中心視野障害を初発とする緑内障症例の経験がなく、緑内障症例における中心10度以内の視野に注目するきっかけとなった症例である。

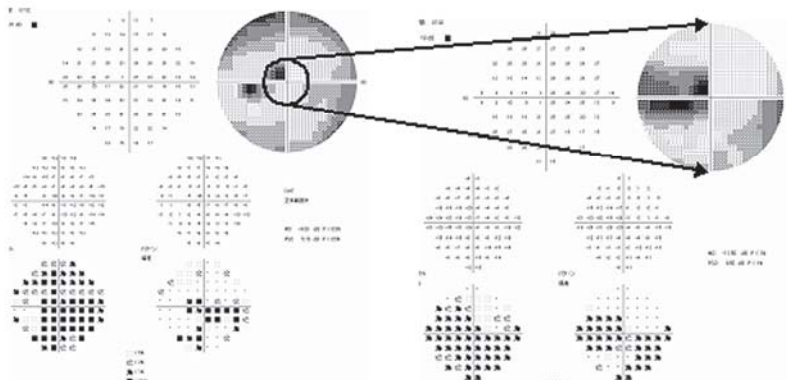


図3. 左眼術後視野検査結果（左：中心30度、右：中心10度）

術後も30度以内の視野障害に大きな変化はない。10度以内を細かく検査するプログラムでは中心より左方（耳側）に黒く表示される暗点が上下に存在している。

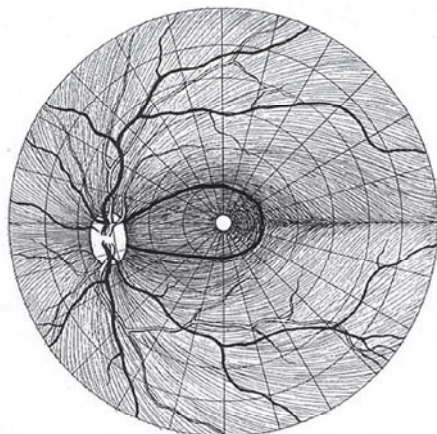


図4. 網膜神経線維走行（黒枠内は乳頭黄斑線維束領域）

左眼 眼底の網膜神経線維で視神経乳頭から放射状に広がるが耳側は水平経線に向かって弧を描く。緑内障では乳頭黄斑線維束の上下耳側の弓状線維束から障害されることが多い。

(The Visual Fields;A textbook and atlas of clinical perimetry DO. Harrington 1956 より引用)

## ご挨拶



本年10月から、西多摩医師会様と顧問契約を締結させて頂きました弁護士堀克巳です。長年鈴木禧八弁護士が担当しておりました会員向けの法律相談を引継ぎ、また医師会の運営等に関する相談を担当させて頂くこととなりました。

当職は、昭和62年に弁護士登録し、今年で25年を迎えました。この間、医療機関・介護施設その他医療関連業務に関する法務を中心に業務を続けております。「日本医事新法」には、毎号質疑応答コーナーがあり、読者からの質問にお答えしておりますが、当職も法律関係の質問に対する回答を担当させて頂いております。

医療法人と取引先との契約書の検討からトラブル処理、従業員との間で生じた労務問題の処理、その他日常的な法律問題の対応、医療法人の設立と解散といった案件、そして患者さんとのトラブルまで幅広く対応しております。また、個人開設の医療機関につきましては、近時、その承継に関しての相談も増えております。医療法人の法務を担当しておりますと、介護関係の相談もあり、特に利用

者とトラブルが生じないように、契約書の整備に関する相談が多くあります。また、医療の問題とは離れた先生方の相続の件や、あまりあつては困るのですが離婚といった家庭の問題についての相談も多く寄せられております。

法的紛争につきましても、医療と同様に予防が重要です。問題が生じる前あるいは問題が大きくなるいううちに、対処することで、問題の早期解決が可能となります。小さなことでも、ちょっと気がかりなことがありましたら、法律相談を是非ご利用下さい。医療の問題に限らず、お気軽にご相談下さい。

なお、医師会での法律相談は、月1回です。お急ぎの場合あるいは日程が合わないような場合は、直接ご連絡頂ければ、対応させて頂きます。また、メール・FAXによるご相談も随時受け付けておりますので、ご利用下さい。

### 【事務所情報】

〒180-0004

東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目20番1号  
吉祥寺永谷シティプラザ717号

駅前通り法律事務所

TEL 0422-20-0154 FAX 0422-27-2706

E-mail khori@salsa.ocn.ne.jp

### 連載企画



## マッキントッシュ・コンピューターから世界に

日の出町 馬場内科クリニック 馬場 眞澄

パーソナルコンピューター（PC）が普及し始めた頃、大学の医局はアップル社のMac派とマイクロソフト社のWindows派に別れていた。画像を取り込んで仕事をするグループは熱心なMac派で医局もMac派が優勢だった。しかし、コンピューターソフトが増え、しかも安く幅広く手に入ると、医局のコンピューターはWindows派に変わり、私もMacからWindowsに寝

返ってしまった。PCを購入する際、Mac愛用の友人は、しきりにMacの良さを力説し、次のように説明してくれたことを思い出す。釘を金鋸で打ちつけるとき、金鋸で打ちつけた反動で釘が刺さっていくことを、いちいち考えないでしょう。理論やシステムを理解して使うのがWindows PCで、理論なしで単なる道具として使うのがMac PCであると……。昔のWindows PCは確かに操作が複

(6)

雑だったが、その後の IT 産業の進歩は目覚ましく OS の違いはあっても操作性と多機能性が改善されている。

携帯電話もまた、音声通信機能のほかに音楽や画像をダウンロードでき、インターネット機能がついているタッチパネル方式のスマートフォンに進化してきている。表計算や文章作成を必要としなければ PC に引けをとらない優れたものである。

アップル社は iPad iPhone など次々新しい機種を発表するたびに、世界中の人々を

あっと驚かせ続けてきた。創始者で元会長の STEVE JOBS 氏は 10 月 6 日にすい臓がんで逝去したが、半世紀に亘り、企業で働く人々に感動を与え続け、創造性の天才が話した言葉は、名言集として世界中の人々からアクセスされている。中でも癌手術を受けて復帰した後のスタンフォード大学での講演では、信念を失わず夢を見つけるまでとどまってはいけない。毎日を最後の日のように生きなさい。人生の限られた時間をむだに過ごしてはいけないことを伝えている。



学術部

Information



## 西多摩医師会学術講演会について

9 月 26 日 (月) に西多摩医師会学術講演会として公立阿伎留医療センター講堂に於いて、「脳卒中診療 最近の話題」というテーマで杏林大学脳神経外科教授の塩川芳昭先生にご講演を頂きました。

講演では、最近の脳卒中診療における話題と直面している課題について、高血圧性脳出血、くも膜下出血、脳梗塞に分けて解りやすくお話して頂き、大変、興味深い内容のご講演でした。塩川教授のご講演の要旨は以下の通りです。 (学術部担当 江本 浩)

### 「脳卒中診療 最近の話題」

杏林大学脳神経外科 塩川 芳昭

脳卒中は、加齢を背景とする脳動脈硬化を基盤とした病態であり、基本的には危険因子管理と薬物による二次予防が核となる内科的疾患である。少数ながら外科的治療が必要となる状況もあり、最近の脳卒中診療における話題をとりあげて、直面している課題を紹介する。

原発性 (= 高血圧性) 脳内出血は、長期間の高血圧により、脳基底核の細動脈 ( $\phi 150 \mu$  程度) に血管壊死が生じて破裂し、脳内出血をきたす脳実質の破壊性病変である。治療を考える際には、脳実質損傷は治療対象外であり、今後の再生治療の発展に期待せざるを得ない状況に変わらない。再出血予防は出血源の治療 (血管病変の摘出、出血血管の凝固) と血管管理に尽きるが、急性期の頭蓋内圧制御が必要な症例には、最近では神経内視鏡を使用した低侵襲手術が一般化しつつある。

くも膜下出血をきたす脳動脈瘤については二つの大きな論争がある。一つは未破裂動脈瘤は自然経過と比較して治療すべきかという問題で、1998 年に偏った集団から算出された非常に低い出血リスクが一流誌に掲載 (ISUIA, N Engl J Med 1998) されて反響を呼んだ。これを受けて、日本脳神経外科学会は日本未破裂脳動脈瘤悉皆調査 (UCAS Japan) を行い 5782 例、6831 動脈瘤 (IC 32%, MC 34%, Acom 14%) の経過観察例について、くも膜下出血 (SAH) は 70 名に

発症し、最終的な年間破裂率は0.7%程度であることを報告した。高齢 (>70)、大きさ (>7mm)、Acom, Pcom, BA, 血栓化動脈瘤 bleb などが有意な危険因子であることが判明したが、家族性や多発症例では有意差のないことが明らかとなった。もう一つの論争は動脈瘤閉塞における開頭手術による clipping と血管内治療における coil 塞栓術の優劣である。ヨーロッパで行われた破裂動脈瘤の治療選択に関する RCT (ISAT, Lancet 2002) では、我が国と治療環境が大きく異なり、特に遅れた治療開始時期や高い治療合併症が問題ではあるが、両方の治療が可能な小型動脈瘤では血管内治療の優位性が報告された。

脳梗塞の治療薬として、ようやく我が国でも 2005 年に、tPA が認可された。この治療薬は欧米や循環器領域から 10 年の遅れをとったとはいえ、事実上「初めての脳梗塞治療薬」として、社会的にも大きな反響を呼んだことは記憶に新しい。tPA は発症 3 時間以内の投与が求められているため病院内の診療体制を効率よいものに変える必要があった。

また、tPA はもろ刃の剣の側面もあり、数%では脳出血のリスクも有している治療法である。だがその治療経験が増えるにつれて tPA は所詮「夢の薬」ではなく有効例は 4 割弱にすぎないことが明らかとなってきた。さらに現在の治療環境下では効果が期待しがたいとわかっている症例でも、他の治療に対して排他的に位置づけられている治療法となっている点も問題で、新たに認可されている血管内カテーテルによる新しい治療法も tPA 無効例に限られているのが現状である。

最後に、脳梗塞の予防的外科治療としては、血行力学的虚血に対するバイパス手術 (STA-MCA bypass) や、頸動脈狭窄症に対する内膜剥離術 (CEA) と血管内ステント留置術 (CAS) が現在行われている。それぞれにエビデンスを有する治療手技ではあるが、内科的治療の進歩に伴いそれを上回るべく外科治療の一層の成績向上が求められている。また現時点では手付かずの頭蓋内狭窄病変に対する血管内治療手技の発展も喫緊の課題であり、脳梗塞の治療は新しい時代に入ったとも言えよう。

## 広報だより



### 親切な診療情報提供書の書き方について

— 1 通の診療情報提供書から考えたこと —

青梅市 梅郷診療所 江本 浩

我々臨床医は日常の診療の中ではほぼ毎日、診療情報提供書 (患者紹介状) を自分が書いたり、あるいは他の医師が書いた物を読んだりしている。今年 1 月に都内のある循環器専門医を標榜する O クリニックの院長先生からの紹介状を持って 20 代の女性が私の診療所を受診された。その患者さんが持参された紹介状は PC で打ってあり、私の手書きの乱筆よりはるかに読みやすい物ではあったが、1 枚の血液検査データを除き、心電図などの添付資料は一切なく、その内容には思わず目を丸くしてしまった。まず診断名①発作性頻脈②心不全と記され、処方内容は 2 種類の抗不整脈薬 (メキシレチン、ベラパミル) とジギタリス、抗めまい薬などであった。本文には転居のため外来治療継続をお願いしますという旨だけ書かれていた。確かに簡潔なのは良い場

合もあるが、あまりに poor である。患者さんからこれまでの経過を詳しく問診したところ、5 年程前に突然数分間の動悸発作とめまい感が出現し O クリニックを受診された。まずベラパミルとジギタリスを処方されさらにメキシレチンを追加された。治療開始後発作回数は減少したが、当院受診前まで 1 ヶ月に 2~3 回の発作がみられていた。O クリニックではホルター心電図を数回実施（詳細は不明）、心エコーではポンプ機能が低下していると言われていた。

診察後、心電図（非特異的 ST-T 変化）と胸部レントゲン（CTR44%）をチェックし、さらに後日ホルター心電図と心エコー検査を施行した。当院でのホルターでは動悸症状に一致して洞性頻脈と単発性の VPC（2 段脈あり）が認められ、心エコーでは EF60%、明確な器質的異常所見は認められなかった。紹介状からは治療前の不整脈が、どういう種類かが解らず、心不全の診断根拠も不明であった。患者さんは将来の妊娠、出産を希望されており、現在の治療を継続するのは問題ありと考えられた。そこで前医に直接電話し疑問点について問い合わせたところ「ホルターでは APC、VPC、PSVT が認められた。」「心エコーで EF が 20% (?) と低値のため心不全と診断した。」「BNP は測定なし」との返事であった。心電図のコピーは FAX して頂けたが、発作時の心電図は提供して頂けなかった。

当院のホルターと UCG 所見からは、器質的心疾患は否定的で抗不整脈薬、およびジギタリスなどの処方を減量または中止できる可能性があると思われた。そこで、慎重にまずメキシレチンから中止し、さらにジギタリスも中止し 3 月にホルターを再検したところ、動悸に一致して VPC ショートランを認めたため、心室性頻拍症と診断した。メキシレチンのみ再投与し症状は改善傾向がみられた。カテーテルアブレーションの良い適応と判断、患者さんに説明したところ希望されたため、同年 4 月に青梅市立総合病院を紹介受診した。右室流出路起源の非持続性心室性頻拍の診断でカテーテルアブレーションに成功し、約半年間経過した現在、投薬なしで不整脈の出現なく経過している。

私はここで、前医の診断と治療の内容についてあえて批評するつもりはない。結果的に患者さんの症状は受診前に比較して改善がみられており、何か理由があつてカテーテル治療は勧めずに上記の薬物療法を継続していたと考えたい。しかし、合併症のない軽症高血圧などの慢性疾患ならともかく、この例のような安定していない患者さんが転居などの理由で転医する場合にはある程度詳細な診療情報提供書を手渡すべきである。私が逆の立場ならば、少なくとも BNP を含む血液検査データ、12 誘導心電図のコピー（数枚）、ホルターでの発作出現時の心電図波形、心エコー報告書のコピーなどを添付し、初診時からの現在までの経過を簡潔に記載するであろう。

私の診療所には青梅市立総合病院を初め、西多摩地域の基幹病院から多くの患者さんを逆紹介して頂いており、そのほとんどの方が、詳細な資料が添付された丁寧な診療情報提供書を携えて来院される。多忙を極める日常診療のさなかに手を掛けて頂き、大変感謝している次第である。

将来開業するか、これから自分の専門分野に進む若い先生方に、ぜひお願いしたい。研修医の頃に先輩医師から受けた指導を忘れずに、いつも丁寧で親切な診療情報提供書を書いて頂きたい。紹介状とは一人の患者さんにとっての、新たな紹介先の医療機関でより適切な医療を提供していただくためのパスポートのようなものであると私は思う。



## 『西多摩地域糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ』

今月のメッセージは、検討会委員でもある、青梅市立総合病院の川鍋とみ江副看護部長さんにお願ひしました。

糖尿病は患者様自身による自己管理が必要となる疾患であり、「糖尿病への理解を深めて納得する」ことで治療の実行性が高まります。そこで今月は「糖尿病教育入院」についてお伝えします。

当院は1997年9月に「1週間糖尿病教育入院プログラム」をスタートしました。対象は、地域の診療所や病院からの紹介患者様が中心となっています。退院後は紹介医療機関へ逆紹介となります。教育入院で療養指導にあたるのは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師からなる糖尿病療養指導チームです。

プログラム内容は以下の通りです。尚、詳細は「1週間糖尿病教育プログラム」をご参照下さい。

### 〈講義〉

- 医師：糖尿病治療、合併症、動脈硬化、癌
- 看護師：運動療法、低血糖、シックデイ、日常生活指導、足病変、自己血糖測定方法
- 管理栄養士：集団食事指導2回と個別栄養指導1回
- 薬剤師：糖尿病薬の作用や用法
- 臨床検査技師：糖尿病の検査

### 〈検査〉

- 内臓脂肪CT、胸腹部レントゲン
- 腹部超音波検査、神経伝導速度検査、自律神経機能検査、足脈波検査
- 負荷心電図
- 採血・尿 等

医師は、これらの検査結果を総合評価し血糖コントロールのための治療方針を決定し治療を開始します。入院中の検査結果については「検査成績表」として患者様に手渡され、紹介医にも郵送しています。また入院2日目には、糖尿病療養指導チームによるカンファレンスが開かれ、患者様の情報をもとに専門的な視点から意見を出し合い、患者様にとって適切な指導計画を立案しています。

退院前日には、看護師と教育入院患者様全員による「食事療法と合併症のビデオ聴講・座談会」が行われ、今後の食事・運動療法の実施方法、内服薬やインスリン内容の確認、受診方法、医療ゴミの廃棄などについて看護師が説明を行います。患者様からも率直で活発な意見が出され、患者様のひとりひとりの生活により密着した話し合いが行われます。

2009年6月から開始したCDEによる「フットケア外来」では、足病変のケアを行いながらポイントを指導しています。時にはリラックスした雰囲気の中で、悩みを話されることもあります。足病変の早期発見、早期治療は患者様のQOLの向上に結びつくため、フットケアを充実させ、今後も糖尿病の療養指導の質の向上を図っていきたいと思います。

# 西多摩医師会 写真・絵画展

恒例の西多摩医師会 写真・絵画展が9月9日～15日まで、羽村市生涯学習センターゆとろぎ展示室で開催されました。

写真が趣味の方、興味のある方は是非医師会事務局か部員(本号出品者)までご連絡ください。

部長 松原 貞一 (TEL 042-554-2427)



**笠富士** 松原貞一  
やっと笠富士を撮る機会に恵まれました。山中湖より河口湖迄廻ったのに未だ消えなかったのも不思議。



**C. ガスケリアナ** 森本 晋  
南米ベネズエラ原産のカトレアです。タイミングよくほぼ同時に開花しました。



**不老不死海岸の日没** 坂本保己  
不老不死温泉は青森県の日本海に面した秘湯として有名ですが昨年夏に訪れ、たまたま沈む太陽と、それに照らされ一列に並んだ千切れ雲を撮ることが出来ました。スジ雲の一種のようです。



**Flowers in the garden** 田村啓彦  
花屋の店先で見つけた小型の白い花。恐らくピラミッド型の花房をもつ紫陽花の園芸品種。背景は満開の紫陽花。絞り開放で青一色となり、白い花を引き立てることができました。



**花水木** 真鍋 勉  
花水木のおうちは大家族!!



**袋田の滝** 稲垣壮太郎  
2010年11月23日に撮影しました。恐ろしいほどの水量で、しぶきで薄暗く、迫力満点でした。多少の紅葉が心を和ましてくれました。帰路トンネルを出たところで撮影しました。



**片隅の秋** 古川朋靖  
医院の片隅にひっそりとかくれていた秋でした。



**初冬の六義園** 西成田 進  
松の緑も色あせ(写真の腕のせいもありますが)、水鳥も動きを止め、その中で向こう岸にたたずむ中年夫婦。何となく「感じ」でているかなあ、と思ってシャッターを切りました。奥さんの服がオレンジか赤だともっと良かった(そんな勝手な)。



笠富士 松原 貞一



C. ガスケリアナ 森本 晋



不老不死海岸の日没 坂本 保己



Flowers in the garden 田村 啓彦



花水木 真鍋 勉



袋田の滝 稲垣 壮太郎



片隅の秋 古川 朋靖



初冬の六義園 西成田 進

**理事会報告**

★ Information

**9月定例理事会****平成23年9月27日(火)****西多摩医師会館**

〔出席者：横田・田坂・鹿児島・野本・川上・蓼沼・江本・川口・山川・宮城・近藤・池谷・松原〕

**【1】報告事項****1. 都医地区医師会長連絡協議会（7月15日）報告****1. 都医からの伝達事項**

- ①喘息患者最新治療及び子供の食物アレルギー講演会（区部・多摩地区）の開催について  
平成23年10月15日（土）午後3時～5時15分 東京都医師会館
- ②「うつ診療充実強化研修事業」、「うつ等精神疾患早期発見・早期対応研修事業」、  
「地域自殺対策緊急強化基金事業」について
- ③平成23年度 東京都の委託事業による医療連携強化研修会の実施について
- ④平成23年度 在宅難病患者訪問診療事業地区医師会別実施報告（第1四半期分）について
- ⑤医療機関におけるインシデント・アクシデントレポート（ヒヤリ・ハット事例）の収集  
について

**2. 地区医師会からの報告**

- ①中央ブロック（当番：神田医師会）
- ②城東ブロック（当番：江戸川区医師会）
  - 1) 第5回江東区医師会医学会の開催について（江東区医師会）
  - 2) 死亡交通事故発生報告
- ③城西ブロック（当番：新宿区医師会）
- ④城南ブロック（当番：荏原医師会）
- ⑤城北ブロック（当番：豊島区医師会）
- ⑥多摩ブロック（当番：立川市医師会）
- ⑦大学ブロック（当番：女子医大医師会）

**※行事予定****1. 10月地区医師会会長連絡協議会**

日 時：平成23年10月21日（金）午後2時～  
場 所：東京都医師会館

**2. 11月地区医師会長連絡協議会**

日 時：平成23年11月18日（金）午後2時～  
場 所：東京都医師会館

**3. 12月地区医師会長連絡協議会**

日 時：平成23年12月16日（金）午後2時～  
場 所：東京都医師会館

4. 東京都医師会年末懇親会  
日 時：平成23年12月16日（金）午後6時30分～  
場 所：ハイアットリージェンシー東京
5. 新年地区医師会長連絡協議会  
日 時：平成24年1月20日（金）午後3時30分～  
場 所：帝国ホテル（終了後懇親会）

## 2. 各部報告

### 保健所

新型インフルエンザに関するガイドラインを作成したい  
医療機関の感染予防対策  
流行期に感染者、非感染者をどのように判別対応するか？  
等について協議したい → 次回理事会にて保健所より説明

## 3. 地区会よりの報告（各地区理事）

### 青梅市

福生市 理事会開催

### 羽村市

あきる野市 9/12 定例会

### 瑞穂町

日の出町

## 4. その他報告

- 9月15日 第2回健康スポーツ医学委員会報告（會澤義之委員）  
平成24年度東京都医師会主催の講習会・研修会の開催について  
諮問『健康スポーツ医が支援できる地区医師会活動』について
- 学校保健委員会  
学校医がどのように決定されているのか？  
認定医制度も導入検討（医師が少ない地域では不可能）
- 東京都医師会 予防接種の実施について  
インフルエンザ予防接種の接種量変更、ガーダシルの認可などについて

## 【2】報告承認事項

1. 入・退会会員、会員変更について —— 承認 ——
2. 「医療連携強化研修会」（都医・地区医師会共催）の開催に係る担当理事・事務の派遣及び参加協力依頼について —— 承認 ——
3. 「医療連携強化研修会」（都医・地区医師会共催）への「西多摩、医療・福祉地域連携マニュアル」VOL. 1用語集の提供協力について —— 承認 ——

## 4. 「東京都医療連携強化研修会」の開催に伴う講師依頼について

上記事項2も含め11月26日に開催される研修会に小机敏昭先生を講師派遣し

『みんなに役立つ連携マニュアル』について講演を行う

また上記事項3の提供協力も行う

## 5. 「西多摩地域歯科保健推進基盤整備検討会」（西多摩保健所）への野本理事派遣依頼について

—— 承認 ——

## 【3】協議事項

## 1. 駅前通り法律事務所（堀弁護士）との顧問契約締結について —— 承認 ——

## 2. 民事調停委員候補者の推薦について

武者廣隆先生の再任を要請する

## 3. 「医療事故調査に関する検討委員会」答申に関するアンケート調査依頼について

会長一任 —— 承認 ——

## 【4】その他

## 1. 「医師会電子回覧板」（仮称）について……継続審議

## 2. 「忘年クリスマス会」「新年賀詞交換会」の日程について

## 3. 平成23年度多摩地区医師会懇話会への出席確認

## 4. 平成23年12月の移動理事会について

## 5. 田坂理事より……日程変更（休日不可となった）の為国保の審査会への出席不可能

**10月定例理事会**

平成23年10月11日(火)

西多摩医師会館

[出席者：横田・田坂・鹿児島・野本・川上・川間・蓼沼・江本・川口・山川・岩尾・宮城・近藤・池谷・松原]

※西多摩保健所よりの説明（理事会前に開催）

## 「新型インフルエンザ等感染症地域医療確保計画」の策定について

西多摩圏域 新型インフルエンザ等感染症地域医療確保計画（骨子案）について西多摩の保健医療体制ガイドラインにおける医療提供体制の考え方及び西多摩の現状について説明があり現在の実施体制について説明今後具体的に策定していきたい旨の説明有り

## 【1】報告事項

## 1. 各部報告

学術部

「市民健康講座」の開催について

日 時：平成23年11月5日(土) 午後3時～5時

場 所：羽村市コミュニティーセンター

**2. 地区会よりの報告（各地区理事）**

青梅市 11/11 西多摩医師会館建設のための説明会開催  
 H24年 1/13 新年会  
 福生市 10/30 健康祭り  
 羽村市  
 あきる野市 10月15日 あきる野市健康のつどいに参加  
 瑞穂町  
 日の出町

**【2】報告承認事項**

1. 入・退会会員、会員変更について —— 承認 ——
2. 弁護士との顧問契約の締結完了（9月29日）について —— 承認 ——
3. 医師会事務局の防災体制に関するアンケート調査（日医）について（回答）  
 —— 承認 ——

今後西多摩医師会としても防災及び感染症対策についてのシステム的な対応策を策定していく必要あり

感染症危機管理に相当する理事を選定 …… 公衆衛生 川口理事 —— 承認 ——

4. 民事調停委員候補者の推薦について …… 武者廣隆先生を推薦 —— 承認 ——
5. 地区医師会入会金、会費、役員報酬などの調査（都医）について（回答）  
 —— 承認 ——

**【3】協議事項**

1. 「忘年クリスマス」の会費について  
 今回 A 会員 10,000 円  
 B 会員 5,000 円  
 同伴者 4,000 円
2. アンケート調査協力依頼への対応について（東京小児科医会会長 他）  
 A 会員の小児科専門医を中心として協力
3. 「糖尿病と合併症予防のための講演会 2011」（小野薬品工業（株）主催）に対する後援依頼について —— 承認 ——

**【4】その他**

1. 「市町村国保主務担当者との懇談会」の開催日について  
 11月15日（火）午後1時30分～3時 会長及び岩尾芳郎先生参加
2. 平成23年度多摩地区医師会懇話会への出席について（全役員）  
 日 時：平成23年11月19日（土）午後5時30分  
 午後6時00分  
 場 所：パレスホテル立川 ローズルーム（4階）  
 会 費：30,000円（事務長10,000円）

# 会員通知

- 会報
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 学術講演会（10/4・10/6・10/13）
- 平成23年度東京都医師会糖尿病予防推進医講習会開催【基礎編】
- レセプト提出日について
- 法律相談について
- 日の出町国民健康保険被保険者証の記載事項誤りによる対応について（お願い）
- 青梅市立総合病院開放病床の設置及び開放型病院に関する連絡会の開催について
- 公立阿伎留医療センター医局講演会（10/31）
- 市民健康講座ご案内（11/5）
- 産業医研修会（12/17東京医科大学医師会）
  - ”（12/3 江戸川区医師会）
  - ”（12/10 東京都医師会）
  - ”（12/17 日本医師会）
  - ”（12/17 三鷹市医師会）
- 振込詐欺ポスター
- 都立あきる野学園PTA医療パンフレット
- 第87回多摩医学会講演会抄録
- 東京都糖尿病医療連携講演会（10/25）
- 東京都在宅医療推進シンポジウム（11/3）
- 大腸がん検診従事者講習会（11/18）
- 医療連携強化研修会（11/26）
- 日医生涯教育協力講座セミナー「地域医療と予防接種～ワクチンがもたらす恩恵～」（2/4）
- 西多摩保健所医療安全支援センター研修会（11/18）
- 新型インフルエンザの診療に関する研修（11/6）
- ぜん息患者最新治療及び子どもの食物アレルギー講演会（11/19）

## //// 医師会の動き ////

医療機関数	213	病院	30
		医院・診療所	183
会員数	547	A会員	203
		B会員	344

### 会議

10月5日	総務会
7日	在宅難病訪問診療（青梅）
11日	定例理事会
14日	在宅難病調整委員会
21日	会報編集委員会
25日	定例理事会
26日	100周年記念史編集委員会

### 講演会・その他

10月4日	学術講演会
	演題：新たなアルツハイマー型認知症の治療戦略～患者・家族のニーズを考慮した薬物治療～
	講師：(医社) 碧水会長谷川病院副院長 石塚卓也先生
6日	保険指導整備委員会

6日	学術講演会
	演題：漢方薬とがん転移
	講師：富山大学和漢医薬学総合研究所 所長 濟木育夫先生
13日	学術講演会
	演題：循環器医におけるPA診療の重要性
	講師：(医社) 五星会 菊名記念病院循環器内科 部長兼心臓血管センター長 宮本明先生
13日	法律相談
16日	糖尿病セミナー
	「1日で卒業、知って得する糖尿病診療のスキルアップセミナー」事例検討
	症例提示：柳田和弘先生（柳田医院）
	高村宏先生（高村内科クリニック）
	レクチャー1
	「糖尿病内服薬選択のポイント」



【新規開業】

氏名 松田 直樹  
施設名 松田医院  
所在地 羽村市小作台5-8-8  
出身校 金沢大学 昭和61年3月卒

【開設者・名称変更】

(医社) 遼清会 みしま泌尿器科クリニック  
(新) (医社) 遼清会 みしま泌尿器科クリニック 理事長 三島 淳二  
(旧) みしま泌尿器科クリニック 三島 淳二

【廃業】

氏名 松田 三樹夫 (死亡)  
施設名 松田医院

お知らせ

事務局より お知らせ

平成23年12月(11月診療分)の

保険請求書類提出

**12月8日(木)**

— 正午迄です —

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克巳先生による法律相談を  
毎月**第3木曜日**午後2時より実施いたします。  
お気軽にご相談ください。

- ◎相談日 11月は17日(木)  
12月は15日(木)
- ◎場所 西多摩医師会館和室
- ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・  
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。  
(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

表紙のことば



『もっともっと』

診療所のパティオの木に  
昨年よりひよどりが巣を作  
りました。親鳥がエサを運ん  
でくると、雛は一斉に首を長

く伸ばして思いっきり口を大きく開けてエサ  
をねだっていました。

森本 晋

## あ と が き



今年も残り2ヶ月となりました。季節は秋から冬に向かい、診療所は特定健診からインフルエンザ（ワクチン）の時期となっていきます。インフルエンザに関して、昨年は1度の吸入で効く薬や点滴薬が発売されましたが今季の話題はどうでしょうか？

先日ファーマフーズ社がインフルエンザ抗体の入った予防トローチを販売したところ、同社の株が東証マザーズ市場で連日のストッ

プ高買い気配となったとのニュースを目にしました。なめ終わっても1～2時間は効果があるとされ、通勤・通学の際の予防に勧めているようです。治療薬では富山化学工業の新薬が気になります。鳥インフルエンザにも効くとされる同薬は現在製造販売申請中ですが、今季中に発売されるのでしょうか？

とは言っても今年もそういった薬の世話に無事過ごせるよう、体調を整え予防に努めるのは言うまでもありません。

土田大介

社団法人 西多摩医師会

平成23年11月1日発行

会長 横田卓史 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23) 2171・FAX 0428(24) 1615

会報編集委員会 近藤 之暢

鹿見島武志 江本 浩 鈴木 寿和 馬場 眞澄 菊池 孝  
桑子 行正 土田 大介 奥村 充 渡邊 哲哉

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22) 3047・FAX 0428(22) 9993

## 健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……  
**(株)武蔵臨床検査所**

食品と院内の環境を科学する  
**F・S サービス**

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8  
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659



信頼のヒューマンリレーション。  
医薬品ネットワークが結ぶ、健康への希い。

医薬品・試薬・医療機器の総合商社

 ● 東邦薬品株式会社

〒155-8655 東京都世田谷区代沢5-2-1 TEL.03(3419)7811(大代表)

## 「西多摩医師会」会員の皆さまへ

東京厚生信用組合は  
福祉・医薬・医療・環境  
衛生の関連事業者の  
発展に寄与してまいります。

東京厚生信用組合は、  
医療関連事業を営む皆様を  
対象として、1953年に設立された  
協同組織の金融機関でございます。

既に各地区医師会で多数の会員の皆様に  
ご利用頂いております。これからも、  
会員の皆様に密着した金融機関として  
努力して参ります。

安心と信頼の  
パートナー

貴重なお時間を有効にお使い  
いただくため、訪問による相談  
業務を得意としております。

お問い合わせは：医師会様担当 落合まで  
●本部〈フリーダイヤル〉

0120-294805

### ご融資

- クリニック運営資金
- 学術研究資金
- ご子息の教育資金
- 記念パーティー等の資金
- お車購入資金
- その他どんな事柄でも

ご相談くださいませ。

都医ニュースでお馴染みの「東京厚生信用組合」です。



「人間・福祉・環境」にやさしい  
東京厚生信用組合

本店 新宿区西新宿6-2-18/浅草支店 台東区駒形1-1-12  
小平支店 小平市美園町1-31-1/青梅支店 青梅市河辺町10-8-3